

平成25年度

港区ごみ減量優良事業者等表彰 受賞者の紹介



受賞者

延床面積 5000 m²以上

- 森ビル株式会社（赤坂榎坂森ビル）
- 株式会社田町ビル（第一田町ビル）
- パナソニック株式会社（パナソニック東京汐留ビル）
- 三井住友信託銀行株式会社（三井住友信託銀行芝ビル）

延床面積 1000 m²以上 5000 m²未満

- 株式会社アイネス（アイネス赤坂ビル）
- 八洲電機株式会社（八洲ビル）

（規模別ビル名五十音順）

港区は、事業所が集積する都心区という地域特性から、区内から排出されるごみの大部分を「事業系ごみ」が占めるという特徴があります。

「事業系ごみ」の減量を着実に進めるためには、事業者による“ごみの発生抑制”“リサイクル（資源化）への取組”が必要不可欠となっています。

そこで「事業系ごみ」の減量とリサイクルの一層の推進を図るために、平成21年度に「港区ごみ減量事業者等表彰制度」を創設し、高いリサイクル率を達成するなどの顕著な実績を上げ、他社に誇れる模範的な取組を行っている事業者等を表彰しています。

これらの優良事業者の模範的で優れた取組事例を、区内事業所への立入指導の際に効果的に活用し、「事業系ごみ」の減量・資源化を図るための一助として役立てていきます。

港 区

赤坂榎坂森ビル

受 賞 者	森ビル株式会社
建物所在地	赤坂 1-7-1
建物属性	オフィスビル(テナントビル)
延床面積	9,284 m ²



表彰理由

森ビルでは循環型社会の形成に資するために、オフィスから発生する廃棄物の分別方法を見直し、入居者に対する「分別の徹底」を図ることを中心に、3R活動の啓発も積極的に行っています。

●特筆すべき優れた取組は以下の3点です●

- ①森ビル独自の「リサイクルハンドブック」を配布し、ごみと資源の分別については専用の9種類の容器も合わせて設置することで、ビルとしての統一的な分別システムを確立しています。
- ②ビルとしての再利用率の目標管理を行っており、各テナントの分別状況を定期的にチェックし、改善が必要な場合は、改善依頼をするなどの目標達成への仕組みが構築されています。
- ③当該ビルから発生する生ごみは、リサイクル（飼料化）しており、生ごみのリサイクル率は86.6%と高いです。

受賞者の声

平成22年2月に竣工した地上11階、地下2階の事務所ビルで、事務所10社、飲食店舗1店、在館人員約350名の建物です。弊社では2010年より3R活動をスタートし、分別によるゴミ減量及び資源化を推進してきました。弊社では近年、下記の取り組みを実施しております。

(1) ごみの実態調査

弊社管理しているビルにおいて、廃棄物のリサイクル率が低い物件を対象にリサイクルしないごみとして回収した内容物の中にリサイクルできるごみがどのくらい含まれているかの調査を行いました。ここで浮き彫りとなった問題点を把握し、今後のリサイクル率向上に役立てています。

(2) 3R推進セミナー開催

入居しているテナント様へ向けて年1回、3R推進セミナーを開催しています。3Rの重要性やゴミの分別方法を説明すると共に捨てられたごみがどのようにして生まれ変わるのかフロー図やリサイクル製品の展示も行っております。こうしたセミナーを開催することで分別徹底を呼び掛けリサイクル向上への意識を高めて頂きたいと思っております。

以上のような取り組みを実施してきたことで毎年少しずつではありますがリサイクル率が向上しております。今回の受賞は弊社の活動にご理解・ご協力頂いた各入居テナント様と清掃係員の真摯な取り組みによるところが大きく、誠に感謝しております。弊社としましては今回の受賞を励みとし、更なるごみの減量化・リサイクル率向上を推進していく所存です。

第一田町ビル

受賞者	株式会社田町ビル
建物所在地	芝5-33-8
建物属性	オフィスビル(テナントビル)
延床面積	42,466㎡



表彰理由

オフィス3、飲食店舗4、物販店舗4を擁する複合テナントビルです。1Fは車のショールームとオープンカフェとなっており、地下3階、地上9階建です。環境負荷低減についても、屋上庭園をはじめ、各種設備を整備して取組んでいます。

●特筆すべき優れた取組は以下の3点です●

- ①視覚的に分かりやすいグラフを利用した排出量や再利用率の資料を作成し、各テナントへ毎月配布して、目標達成に向けて、コメントを付して改善を要望するなどの徹底管理を実施しています。
- ②各テナント担当者を対象とした「地球温暖化対策推進協議会」を開催し、ごみ減量を含めた環境負荷低減(CO₂削減・省エネ)についてビルとして積極的に啓発の取組を行っています。
- ③排出抑制として、オフィスなどには書類の電子化を、又飲食店には水切り用バケツの貸与による水切りの徹底を呼びかけ、ビルとして一体的に取組んでいます。

受賞者の声

当社はJR田町駅を中心に事務所及び飲食店舗、物販店舗等が入居したビルを運営しており、本年でちょうど創立50周年を迎えます。そのような節目である年にこのような表彰を頂き、大変光栄に思っております。当社の廃棄物に関する主な取り組みについては以下のものがあります。

(1) 廃棄物の分別・計量

廃棄物の分別ルールを定め、給湯室等排出場所に分別ルールを掲出するとともに、テナントに配付し、周知を図っています。分別された廃棄物をテナントや共用部の排出元ごとに計量器を用いて計量し、計量された重量等をデータ化しています。

(2) 計量データの活用

計量されたデータをグラフ化し、各テナントから排出される廃棄物の月ごとの推移や年度別の変化が簡単にわかるようにしています。グラフは気づき事項などを記入してテナントに配付し、減量及び再利用の協力を要請しています。

(3) 地球温暖化対策協議会の開催

二酸化炭素排出量の削減や省エネ活動と併せて廃棄物の削減や再利用向上を目的に年2回ビル全体の「地球温暖化対策協議会」を開催し、各テナントに協力を要請しています。

(4) ISO14001マネジメントプログラムに基づく活動

当社はISO14001の認証を取得し、マネジメントプログラムに基づいて環境目標達成へ向け活動を行っています。

(5) 書類の電子化

社内書類の決裁について可能な限り電子決済を採用し、書類の電子保存を実施しています。また、社内会議や社内勉強会等でも、極力資料の配付は行わず、パソコン、プロジェクターの活用や裏紙の利用等紙類の削減に取り組んでいます。産業廃棄物マニフェストについては、電子マニフェストを採用しています。

(6) 中間処理場、最終処分場の現地視察

廃棄物の中間処理場や最終処分場を年1か所以上視察し、ビルから出された廃棄物が適切に処理・処分されているかを確認しています。

廃棄物の減量及び再利用化についてはまだまだ課題はありますが、今後もテナントに協力を頂きながら、ビル一体となって、取り組んでいきたいと思っております。

パナソニック東京汐留ビル

受 賞 者	パナソニック株式会社
建 物 所 在 地	東新橋 1-5-1
建 物 属 性	オフィスビル
延 床 面 積	47,274 m ²



表彰理由

お客さまには「環境にやさしいこと」をセールストークとしており、環境に対する意識は高く、社内におけるごみと資源の徹底した分別の実践ができています。さらに、会社としても廃棄物のリサイクル率100%という、「ゼロエミッション」を目指して、挑戦し続けています。

●特筆すべき優れた取組は以下の3点です●

- ①建築時から各階に専用のリサイクルルームを設置して、資源類を細かく17品目に分別しています。独自の各種分別啓発チラシを作成し、資源とごみの適正な分別が実践できています。
- ②各階の「環境掲示板」で各階のごみや資源の排出状況を毎月グラフで報告し、社員にフィードバックすることで、目的意識を刺激し、ごみ・資源についての高い分別意欲が維持できています。
- ③企業の社会的責任（CSR）についても、高い意識を持ち、環境美化活動を通して、地域の環境保全活動にも積極的に取り組んでいます。

受賞者の声

パナソニック東京汐留ビルは松下電工(株)東京本社ビルとして2003年1月に汐留エリアに竣工しました。地上24階地下4階のショウルーム・事務所オフィスビルで、現在、パナソニックグループ社員約2200名が在籍しています。「ビルまるごとショウルーム」をコンセプトに「環境・省エネ提案ビル」を目指しています。省エネCO2削減に関しては2012年度実績は、竣工年度比47.7%削減が実現できました。社員食堂から排出される生ごみは自社製品の業務用生ごみ処理機で処理し、堆肥化して栃木県にて農産物を生産していただいた後再び社員食堂へと循環する食品リサイクルを実施しています。毎年、生産者の方々が社員食堂にも足を運ばれ、循環型社会を実感しています。又、フロア毎にリサイクルステーション（分別ごみ置場）を設け、それぞれに分別方法や分別例を写真で掲示する事で、分別の標準化を目指しています。ビル内からの排出物は食堂からの生ごみ含め、全量計量しているため、フロア毎の分別品目別にグラフで可視化が可能です。すべてのフロアにフロア別の月別実績を掲示する事で自部署フロアの排出状況も分かり、削減意識も高まっております。

パナソニックグループでは環境ISO14001も取得しており、環境マネジメントシステム（EMS）の一環でゼロエミッション制度があります。2年に一度の社内審査を通じ、廃棄物のゼロ化、リサイクル率100%化を目指し活動のレベルアップを図っています。これまでの取組みの評価として、今回、港区ごみ減量優良事業者の受賞を頂き関係者一同感謝いたしております。今後も、日々可能な限り引き続いて3R・4Rに一丸となって挑戦・努力して参ります。

三井住友信託銀行芝ビル

受賞者	三井住友信託銀行株式会社
建物所在地	芝3-33-1
建物属性	オフィスビル(テナントビル)
延床面積	38,620 m ²



表彰理由

三井住友信託銀行とそのグループ8社が入居するオフィスビルで、14階に社員食堂及びコンビニを併設しており、近年では環境負荷低減について、削減目標を設けるなど、ビルとしての取組を強化しています。

●特筆すべき優れた取組は以下の3点です●

- ①テナントとの定期的な連絡会を設けて、分別状況での改善事項や排出実績などの情報提供を行い、ビル側と入居者側が緊密に連携しながら、取組を実施しています。
- ②社員などが建物外から持ち込んだ新聞・雑誌の持ち帰り、コピー等印刷枚数の部門別管理、机周りのごみ箱撤去など排出抑制の各種取組を実施しています。
- ③機密文書はシュレッダー処理ではなく、処理単価が高くても溶解処理を行い、付加価値の高いリサイクル推進に貢献しています。(※紙繊維の長さにより、溶解処理⇒再生紙、シュレッダー⇒トイレットペーパーになります)

受賞者の声

当ビルは、2001年12月に竣工した地上22階地下3階のオフィスビルで、三井住友信託銀行グループの社員約2000名が在籍しています。グループでは、環境マネジメントシステム(EMS)に則り、その一環として廃棄物処理に取り組んでいます。

廃棄物処理については、各階にゴミ分別ボックスを設置し、毎日のゴミは、従業員が、各人のゴミボックスから、分別ボックスに分別処理しています。量の多い紙類は分別ボックスでリサイクル、可燃ゴミに分けるほか、溶解、シュレッダー(ミックスペーパー)に分けて処理されています。

また、毎週1回、清掃会社3社と打合せを行い、分別方法に問題がある場合は月1回のビル連絡会で入居者に改善を依頼しています。

廃棄物処理量は、前年比10%削減目標のもと、毎月入居者に実績を開示し、その主原因となる紙の使用量も10%削減目標のもと、コピーカウント数、紙の購入量を部門別に毎月開示し、両面印刷状況は個人別に開示し、削減の意識付けを行っています。その他グリーン購入比率も開示されています。

当ビルは、ISO14001の認証取得に向け活動しています。今後も廃棄物処理量の削減だけでなく、電気使用量の削減、紙の使用量の削減、グリーン購入比率の向上等、更に環境への意識を高め、様々な角度から社会に貢献できるよう三井住友信託銀行グループ社員一同、頑張っています。

今回の受賞を励みに、更なる活動のレベルアップを図ってまいります。

アイネス赤坂ビル

受賞者	株式会社アイネス
建物所在地	赤坂6-11-1
建物属性	オフィスビル(自社ビル)
延床面積	4,932㎡



表彰理由

赤坂オフィスでは500人弱が在籍しており、建物は地下1階地上5階建です。環境委員会が推進役となり環境負荷低減のための、各種目標を定めて、環境保全活動を啓発し、取り組んでいます。

●特筆すべき優れた取組は以下の3点です●

- ①分別容器のそばの「エコ・インフォメーション（掲示板）」で環境委員会の目標（廃棄物については削減△2%、分別率98%）を掲示して、社員に周知して取組を実施しています。
- ②その取組状況については、その掲示板や社内Webを利用して、毎月の分別状況を掲示（フィードバック）することで、社員の目的意識を刺激し、ごみ・資源についての高い分別意欲が維持できています。
- ③リユースの取組として、使われずにしまわれている事務用品などを一旦回収し、再利用しています。そのための回収専用のキャラクターを製作し、回収活動を行うなど、社員の創意工夫が活かされています。

受賞者の声

情報処理サービス事業を営む当社は、情報技術を通して豊かで快適な社会の構築に寄与することを目指しております。私たちが提供するサービスは、お客様の業務の効率化だけでなく、環境保全に通じる循環型社会の形成など社会基盤の整備に貢献できるという信念のもとで事業に取り組んでいます。

独自の活動としては、2003年より環境国際規格「ISO14001」に準じた環境マネジメントシステムを導入し、赤坂オフィスを含む全国11拠点で認証を取得。PDCAサイクルによる継続的な改善に取り組んでいます。また、環境保全を社員の身近な活動として定着させるために「もったいない5R」を合言葉に環境に優しい働き方を実践しています。「もったいない」は、古くから日本人が親しみを持つ言葉であり、5Rは、3R（Reduce、Reuse、Recycle）に、地域・社会との連携を大切にする「Relationship」、環境に優しいサービスを目指す「Reengineering」をプラスしたものです。推進体制としては、環境委員会を各拠点に設置し、全社の活動の推進役を担うとともに拠点ごとの特性や地域の環境にあった活動に取り組んでいます。

赤坂オフィスの環境委員会で特に力を入れているのが資源分別です。現在、分別率98%の目標を掲げて取り組んでいます。分別率を高めるためには社員が迷わずに分別できることが大切です。そのため各階に設置した分別ボックスごとに分別ルールを明記し、社員が悩まない工夫をしています。ボックスは担当者が毎日チェックし、正しければ○印を、間違っていれば×印をつけ、社員に結果を伝えています。この結果を月単位で集計し、月間の分別率と間違いやすい資源の分別方法も併せて掲示しています。また、文房具リユースワゴンの「リユース君」が定期的に各階を訪問し、机の中で眠っている文房具や事務用品を回収。不要な文房具類の再利用を促し、廃棄物削減につなげています。

このような地道な取り組みを継続したことで社員一人ひとりの環境保全に関する意識も高まり、今回の受賞につながったと考えております。今回の受賞を励みにこれからも活動に取り組んでまいります。

八洲（やしま）ビル

受 賞 者	八洲電機株式会社
建 物 所 在 地	新橋 3-1-1
建 物 属 性	オフィスビル（自社ビル）
延 床 面 積	4,611 m ²



表彰理由

社内の組織としてISO推進課を設置し、そこが中心となって全社員を対象に環境教育を実施するなど、ごみ・資源についての啓発を推進しており、ごみ・資源の管理も一括して行っています。

●特筆すべき優れた取組は以下の3点です●

- ①ごみ・資源の分別については、細分化し、14品目の分別システムを確立しており、排出状況の管理については、目標設定、実績確認、分析（検証）、対策とPDCAサイクルを実践して成果をあげています。
- ②機密文書はシュレッダー処理ではなく、処理単価が高くても溶解処理を行い、付加価値の高いリサイクル推進に貢献しています。（※紙繊維の長さにより、溶解処理⇒再生紙、シュレッダー⇒トイレットペーパーになります）
- ③企業の社会的責任（CSR）についても、高い意識を持ち、環境美化活動を通して、地域の環境保全活動にも積極的に取り組んでいます。

受賞者の声

八洲電機株式会社は、その経営ビジョンである「製品・サービスを通じ、環境配慮型社会に貢献する」を実現するため、事業活動において省エネ対応等の環境分野を中心にお客様の多様なニーズに対して満足度の高い製品・システムでお応えしている「電機技術商社」です。

当ビルは、1962年に竣工した地上10階、地下1階の自社ビルで、約480名の社員が在籍しております。

当社は、2001年7月にISO14001の認証を取得し、常に改善意識をもちながら、環境ISOの活動を積極的に推進しております。主な活動としては、CO2の排出抑制を促進するため、本業である「省エネ製品、システム製品の販売」を主体に、社内の照明、空調等の省エネ化、一般廃棄物の削減などに積極的に取り組んでおります。

一般廃棄物の分別廃棄は環境ISOの認証取得当初から行っておりましたが、更なる廃棄物の削減とリサイクル率向上を目指すため、2012年12月から従来の分別方法を見直し、廃棄物を14種類に分別しました。主な改善は弁当ガラの廃プラスチック回収強化、ミックスペーパーの分別強化をしたことであり、これにより可燃物を最小限に抑えることができました。また、社員に対する環境教育を通じて分別ルールを徹底させたことにより、社員一人ひとりが手元分別するなどの改善が図られ、廃棄物の削減およびリサイクルに対する意識の浸透に繋げることができました。

社内から排出された全ての廃棄物は、1日1回デジタル計量器で実量測定し記録します。排出状況を管理するため排出量の月次目標値を設定し、排出量が目標値を超過または前月の実績に対し大きく変化があった場合は、原因を究明し対策を実施しております。

以上の取組みを実施したことにより、リサイクル率を従来の70%台から90%台に大幅に向上させることができました。

これらの活動が評価され、この度のごみ減量優良事業者として表彰いただきましたことに感謝申し上げますとともに、今回の受賞を励みとし、廃棄物の削減、リサイクル率向上に、より一層努めて参りたいと考えております。

これまでの受賞者一覧

(年度別 / 規模別 / 五十音順)

年度	規模	名称（ビル名）	種別 延床面積	所在地	概 要
平成 24 年 度	5,000㎡ 以上	キャノン電子	本社ビル 6,296 ㎡	芝公園 3-5-10	発生抑制に重点を置いた優れた取組を実施しています。私物系のごみの持ち帰りの徹底や業務系のごみの排出についても決められた日時までは個人や部門で管理しています。
		独立行政法人 国立印刷局	本社ビル 11,061 ㎡	虎ノ門 2-2-4	全職員に「廃棄物運用手順書」を配布し、意識の向上を図っています。資源・廃棄物の種別実量を徹底管理することにより、削減等目標を設定し、目標達成に向けて取り組んでいます。
		サントリービル	本社ビル 34,492 ㎡	台場 2-3-3	「環境 e ラーニング」やクオリティアップ運動などを通じた、優れた環境教育や取組が行われています。
	1,000㎡ 以上	廣済堂ビル	本社ビル 3,687 ㎡	芝 4-6-12	集約コピーやペーパーレスの推進で発生を抑制し、合わせてリサイクル容器を大きく、ごみ容器を小さくするなど、適正分別の徹底にも取り組んでいます。
	5,000㎡ 未満	トヨタ部品東京共販 (株) 本社	本社ビル 2,371 ㎡	東麻布 1-10-10	社員が交代で分別コーナーの状況を点検したり、毎月のごみ量を集計し、前年より増加した場合は原因を究明し、改善策を実施するなど、実態に即した臨機な対応で取り組んでいます。
		名称（ビル名）	種 別	所在地	概 要
平成 23 年 度		シーバンス S 館	テナントビル	芝浦 1-2-3	グループ企業が入居するオフィスビルです。ハンドブックによる啓発、分別ボックスの工夫など紙類のきめ細かなリサイクルが成果をあげています。
		ハウスオブローゼビル	本社ビル	赤坂 2-21-7	企業の本社ビルです。講習会を定期的に行い、「オフィスからのごみはすべてリサイクル！」を掲げて、紙類のリサイクルに意欲的に取り組んでいます。
平成 22 年 度		商船三井ビルディング	テナントビル	虎ノ門 2-1-1	グループ企業に加え、テナントが入居するオフィスビルです。紙類にターゲットを絞った「紙ごみ減量・紙類リサイクル」の取組が成果をあげています。
		世界貿易センタービルディング	テナントビル	浜松町 2-4-1	飲食店、店舗、オフィス等が多数入居する大規模複合テナントビルです。生ごみリサイクルにも取り組み、高いリサイクル率を達成しています。
		第一ホテル東京	ホテル	新橋 1-2-6	客室、結婚式場、レストラン、ラウンジ等を備えるホテルです。区内の他のホテルの規範になりうるレベルでの、ごみの減量・資源化に取り組んでいます。
		虎ノ門 37 森ビル	テナントビル	虎ノ門 3-5-1	オフィス、医療機関等が入居する複合テナントビルです。独自の廃棄物処理、リサイクル推進のシステムやルールが確立しています。
		フジテレビ本社ビル	本社ビル	台場 2-4-8	オフィス、スタジオ、見学・イベントスペース、グッズ販売店、飲食店等を有するテレビ局本社ビルです。独自の廃棄物処理、リサイクル推進のシステムやルールが確立しています。
平成 21 年 度		佐鳥ビル	テナントビル	芝 1-14-10	グループ企業が入居するオフィスビルです。社員レベルまで浸透した取組が成果をあげられています。
		汐留シティセンター	テナントビル	東新橋 1-5-2	飲食店、店舗、オフィス等が多数入居する大規模複合テナントビルです。高いリサイクル率を達成しています。
		田町センタービル	テナントビル	芝 5-34-7	駅前ビルに入居する店舗により構成される商店会です。コスト意識、データ共有化など、意欲的に取り組まれています。

発行 港区環境リサイクル支援部 みなとりサイクル清掃事務所

〒108-0075 港区港南3-9-59 TEL (3450) 8025

平成 26 年 3 月発行



この印刷物は環境に配慮し、古紙配合率 100%再生紙及び大豆インキを使用しています

発行番号 25225 - 5651